

柏崎市雨水出水浸水想定区域図に関する Q&A

Q1.雨水出水浸水想定区域とはなんですか？

考えられる最大規模の降雨により下水道(雨水)や道路側溝で雨水を処理しきれなくなった場合に、街なかで浸水（内水氾濫）が想定される区域です。

Q2.雨水出水浸水想定区域図とはなんですか？

考えられる最大規模の降雨により下水道(雨水)や道路側溝で雨水を処理できず、街なかに水があふれた場合、どの区域でどのくらい浸水するかをシミュレーションにより図示したものです。

Q3.なぜ雨水出水浸水想定区域図を作成するのか？

近年、下水道(雨水)や道路側溝で流しきれないほどの猛烈な大雨が全国的に増えています。柏崎市においても、床上・床下浸水や道路冠水といった被害が発生しております。このような状況を踏まえ、想定最大規模降雨により想定される浸水区域や浸水深を公表することで、皆様のお住まい、職場、学校の周りで想定される浸水リスクをご確認いただき、活用するために作成・公表しています。

Q4.想定最大規模降雨とはなんですか？

「1000年に1回程度の確率で起こるかもしれない、最大クラスの猛烈な大雨」のことです。これは「1000年待たないと降らない」という意味ではなく、「めったにないけれど、いつ起きてもおかしくない大雨」を想定しています。柏崎市では、国の基準に基づき「1時間に最大130mm」という雨量を想定しています。これは、傘が全く役に立たず、息苦しさや恐怖を感じるほどの非常に危険な雨です。

Q5.内水氾濫とはなんですか？

短時間に激しい雨が降り、下水道(雨水)や道路側溝で雨水を流しきれなくなって、道路や家が水に浸かってしまうことです。

川の水があふれたり堤防が壊れたりして起こる「洪水（外水氾濫）」とは違い、川から離れた場所でも起こる危険があるのが特徴です。

Q6.指定区域を市内全域としていないのはなぜですか？

法律（水防法）により、下水道(雨水)や道路側溝等から雨水があふれた場合に、浸水が想定される区域を指定することとされているためです。

ここでいう区域とは「公共下水道（雨水）」を指すため、柏崎市では「公共下水道事業計画区域（雨水）」を対象として浸水のシミュレーションを行い、区域を指定しています。

Q7.公共下水道事業計画区域とはなんですか？

「雨水用の下水道」が整備されているまたは計画されている区域をいいます。

Q8.着色がされていない区域は今後も浸水の可能性がないということですか？

着色されていない区域でも 10cm 未満の浸水が発生する可能性があります。また、シミュレーションで設定した以上の降雨、津波、高潮、河川の破堤や越水による氾濫等を考慮していませんので、着色がない区域や対象外区域（灰色着色部）においても浸水する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

Q9.過去の大雨で浸水した場所が図面上の浸水範囲や浸水深と異なるのはなぜか？

雨の降り方の違い、土地の利用状況が変化した場合や、落葉や土砂のたい積による道路側溝等の詰まりなどは、シミュレーション上考慮できないため、想定される浸水範囲や浸水深が実際と異なる場合があります。

Q10.この浸水を解消するための整備を柏崎市は実施しますか？

雨水出水浸水想定区域図は、浸水リスクを把握することで、被害軽減に役立てていただくことを目的に作成しました。

柏崎市では 1 時間雨量 41.9mm に対応する整備を進めていますが、想定最大規模降雨による浸水を解消するための整備は予定していません。

Q11.雨水出水浸水想定区域図と内水ハザードマップとの違いはなんですか？

雨水出水浸水想定区域図に水害時の避難場所、避難経路などの防災情報を記載したものが今後作成をする内水ハザードマップとなります。